

1. 意見

地球温暖化の影響で、直轄地域では近年異常に気温が上昇する傾向があります。

下り物とともに昨年春から始まり現在も「旱魃」、また一部で「暴風雨」
による被害が出ています。

天皇陛下の大河流域面積と減少、流域に暮らす住民の生活資金を
守るには、約10年間の間で人口増加を重視し、社会を構成する人材の地域に定着
五年の懸念事項になります。

そのため天皇陛下流域の安全のため、早期の対策を望みます。